

○日時 令和5年9月29日(金)

13:20~14:20

○場所 小倉城庭園 展示室

インド環境産業企業 ラムキーグループの日本法人設立 および包括連携協定締結に関する記者会見

次 第

1. 出席者紹介

2. 北九州市からの説明

北九州市長 武内 和久

3. ラムキーグループからの説明

ラムキーグループ 創業者 アヨディヤ・ラミ・レディ・アラ

ラムキー・インフラストラクチャー社 副社長 ディバカール・マリ

リ・サステナビリティ社 副社長 サティヤナラヤナ・アダマラ

P9(ピーナイン)合同会社 代表 松野 小百合

4. 協定書署名

5. 質疑応答

6. 写真撮影

配布資料

- ・次第(本紙)
 - ・配席表
 - ・北九州市 説明資料
 - ・ラムキーグループ 説明資料
- 《参考配布》
- ・令和5年9月29日付 北九州市プレスリリース資料

【問い合わせ先】

北九州市環境局環境国際戦略課
課長：火箱、係長：勝原
電話：093-662-4020

インド 最大手環境産業企業
ラムキーグループ
Ramky Group



北九州市
City of Kitakyushu

環境国際ビジネス関連プロジェクト推進に関する
連携協定の締結について



北九州市
CITY OF KITAKYUSHU

北九州市長 武内 和久
令和5年9月29日



ようこそ 北九州市へ

स्वागत

Welcome to
KITAKYUSHU

日本を代表する環境先進都市・北九州市

1960年～ 市民の力で公害を克服

市民（婦人会）の行動開始



「産・官・民」連携で公害を克服



●クリーナープロダクション



●上水・廃水処理



1990年代～ 「循環型社会」「脱炭素社会」を目指した都市づくり

北九州エコタウンプロジェクト

●リサイクル・廃棄物処理



自動車

家電

OA機器

再生可能エネルギー

●エネルギーマネジメント



風力発電

市民太陽光発電所

資源循環と環境産業の融合した日本で最初かつ最大のプロジェクト

北九州市の環境国際展開

2010～ アジアカーボンニュートラルセンター（旧：アジア低炭素化センター）



3つの組織が連携して環境国際ビジネスを推進

KITA (公財)
北九州国際技術協力協会
1980年～ 人材育成

IGES (公財)
地球環境戦略研究機関
1999年～調査・研究



東南アジアを中心とした環境国際ビジネスの展開

★姉妹都市



ベトナム
(ハイフォン市)



★姉妹都市



カンボジア
(プノンペン都)



★環境姉妹都市



インドネシア
(スラバヤ市)



★環境姉妹都市



フィリピン
(ダバオ市)

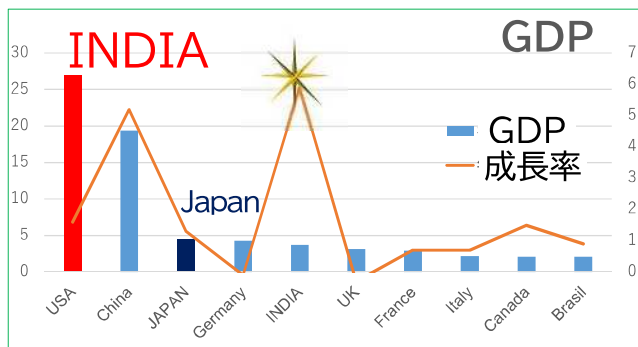
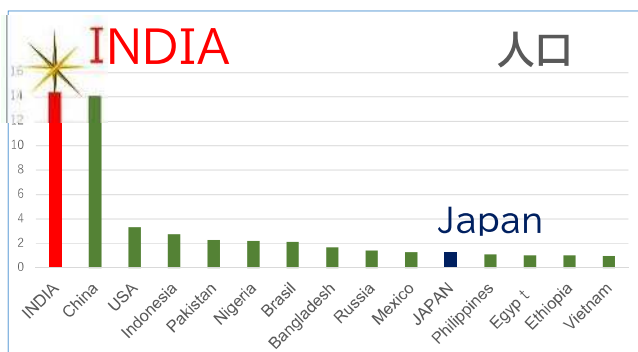


環境国際ビジネスの新たな扉



インド

- 人口14億人（生産年齢人口2/3）世界1位
- GDP 世界5位、成長率：7%
- 面積 世界7位



■ ラムキーグループの日本・北九州市進出



①

インドの産業廃棄物・リサイクルの最大手



②

環境産業・インフラ開発など多角経営



③

インド、中東、米国等 世界的ネットワーク

国内初！
インド環境産業企業 進出

- 本 社：インド・ハイデラバード市
- 設 立：1994年4月
- 売 上 高：グループ全体 13億米ドル
(約1,800億円)
- 従業員数：世界 約25,000人



■ ラムキーグループと北九州市との連携協定



「環境国際ビジネス関連プロジェクト
推進に関する包括的な連携」

**本市初！
インド企業との連携協定**

① インドの環境人材育成

② 市内企業とインド企業との連携

③ インドを対象とした環境プロジェクト形成

④ 市内企業や大学等との環境分野での共同研究



北九州市の目指すもの



- 現地ネットワーク構築
人材不足の市内企業支援
- 製品、技術、ノウハウの輸出
市内企業の海外進出支援
- 新たな環境ビジネスの創出
- 市内の学術研究機能の強化

「成長への再起動」



北九州市の
新成長モデルを
日本へ、アジアへ、
そして世界へ 7

報道機関各位

令和5年9月29日
北九州市環境局

国内初！インド最大手環境産業企業が 日本法人を北九州市に設立！ ラムキーグループと連携協定締結

～市内環境関連企業の海外展開に追い風～

- ◆ インドで北九州市をモデルにリサイクル団地(エコタウン)の整備を目指す、インドの最大手環境産業企業ラムキーグループが同社初の日本法人を北九州市に設立しました。
- ◆ インドの環境産業企業が日本法人を設立するのは国内初であり、これを契機にインドでの環境国際ビジネスを推進するため、ラムキーグループおよび同社日本法人と包括的な連携協定を締結しました。
- ◆ 北九州市は、同グループと連携して、インドの廃棄物管理をはじめとした環境改善に取り組むとともに、市内環境関連企業の海外展開を支援します。

1 連携協定締結式

- (1) 日時 令和5年9月29日(金)13:20～14:20
- (2) 場所 小倉城庭園展示室（住所:小倉北区域内1-2）
- (3) 締結者 【ラムキーグループ】 ラムキー・インフラストラクチャー社 副社長ディバカール・マリリ・サステナビリティ社 副社長 サティヤナラヤナ・アダマラ
日本法人 P9(ピーナイン)合同会社 代表 松野 小百合
【北九州市】 北九州市長 武内 和久
- (4) 内容 ① 出席者紹介(上記締結者 及び ラムキーグループ創業者 ラミ・レディ氏)
② 北九州市説明 ③ ラムキーグループ説明 ④ 協定書署名(4通)
⑤ 質疑応答 ⑥ 写真撮影

2 協定項目

- (1) インドの環境人材育成 → 現地ネットワーク構築、人材不足の市内企業支援
- (2) 市内企業とインド企業との連携 → 製品、技術、ノウハウの輸出、市内企業の海外進出支援
- (3) インドを対象とした環境プロジェクト形成 → 新たな環境ビジネスの創出
- (4) 市内企業や大学等との環境分野での共同研究 → 市内の学術研究機能の強化

3 本市に期待できる効果

今回のインド最大手環境産業企業の北九州市誘致成功は、国内企業のみならず、海外企業にとっても大きなインパクトがあります。

今回、新たに構築したインドとのネットワークにより、市内企業の海外展開を促進するとともに海外展開を希望する市外企業や海外企業の誘致にもつなげていきます。

4 企業概要

【ラムキーグループ】

環境と経済の両立を図るプロジェクトの開発に注力し、都市開発等のインフラ整備部門と廃棄物処理等の環境産業部門におけるインドの主要企業の一つ。

ラムキーグループはインドでのリサイクル団地(エコタウン)の整備を目指しており、北九州市のエコタウンや海外展開の取組の紹介等を通じて、北九州市及び市内企業が持つ技術やノウハウを是非活用したいとの意向があり、北九州市への法人設立を決定。

*ラムキー・インフラストラクチャー社【インフラ整備】
インド・ボンベイ証券取引所に上場するゼネコン
*リ・サステナビリティ社【環境産業】
インドの産業廃棄物部門では最大手(インドの産業廃棄物処理量の約60%)
世界的な投資会社 KKR が出資

社名	ラムキーグループ
創業者	アヨディヤ・ラム・レディ・アラ(インド上院議員) *連携協定締結式に同席
本社	インド・ハイデラバード市
設立	1994年4月
事業内容	インフラ整備:住宅、都市開発、道路、鉄道、工業団地整備・運営等 環境産業:廃棄物の収集運搬・処理施設建設・運営等 その他:製薬、コンサルティング等
事業拠点	インド、シンガポール、サウジアラビア、UAE、オマーン、米国等
売上高	グループ全体で13億米ドル(約1,800億円)
従業員数	グループ全体で約25,000人

【P9(ピーナイン)合同会社】

ラムキーグループの日本法人として、本年9月 北九州市小倉北区に設立された会社。

同社は企業の海外展開支援(技術提携等)、海外の環境人材育成、環境関連技術の研究開発、環境事業等への投資、プロジェクト組成等のコンサルティング事業を進めていく予定。

社名	P9(ピーナイン)合同会社
代表者	松野 小百合
本社	北九州市小倉北区(COMPASS 小倉)
設立	2023年9月
資本金	1,500万円
事業内容	企業の海外展開支援(技術提携等)、海外の環境人材育成、人材派遣、プロジェクト組成等コンサルティング、環境関連技術の研究開発、環境事業等への投資

【問合せ先】環境局環境国際戦略課
担当課長:火箱、担当係長:勝原 TEL:093-662-4020